

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 第 6 回 多摩専門部会
議事要旨

日時：令和 7 年 2 月 27 日(木) 午後 3 時 30 分から午後 4 時まで

場所：都庁第一本庁舎 15 階 15F 会議室及びオンライン

1. 開会

2. 報告事項

一般参加レースの見直し・検討について

- ・ 一般参加レースについて、前回の多摩専門部会における委員からのご意見を踏まえ、対応策を検討した。
- ・ 1 点目、安全第一を前提に運営すべきとのご意見があった。こちらについて、レースでなく、UCI コースを体験していただく「コース体験ライド」として再整理した。
- ・ 2 点目、ファンライドのほうがより多くの人に受け入れられるとのご意見があった。こちらについて、アップダウンの激しいコース上、安全面の観点から、参加者はある程度の経験者に対象にするが、より魅力的なイベントの企画を考えることでより多くの方を訴求したいと考える。また、暑さ対策として、給水ポイントの設置やスタート前・フィニッシュ後のミスト等の設置を検討する。
- ・ 3 点目、タイム計測を厳密に行い、順位をつけると競技性が上がりリスクが高まる一方、参加者のインセンティブにも配慮する必要があるとのご意見があった。こちらについて、平坦な区間の計測はスピードが出やすいため廃止し、上りの 2 区間のみ上り坂でありスピードが出にくいことから参考タイムを計測し、上位 25%にはゴールドステッカーを配布するなど、ある程度のレンジを設け賞品等を渡すことを検討している。なお、コース全体のタイム計測は、レース性が高まるため実施しない。
- ・ 4 点目、10 人程度の集団が 10 秒間隔のグループスタートとなると、走行中に固まる可能性があるとのご意見があった。こちらについて、人数間隔はそのままとするが、スピードが出やすい下り坂や上りのタイム計測区間を中心に、サポートライダーや定点スタッフを適切に配置し、安全管理を徹底する。また、エントリー時に、自身のスキルを申告してもらい、スキルに応じたグルーピングを行い、上級者から順にスタートする。
- ・ 5 点目、参加可能車種の範囲を広げた方が良いとのご意見があった。こちらについて、小径車、マウンテンバイクを追加する。また、参加できる車種のわかりやすい図解や禁止する装備やハンドル形状等については、募集要項に記載する。

- ・ 6 点目、安全基準を満たしたヘルメットを推奨すべきとのご意見があった。こちらについて、安全基準を満たした自転車用ヘルメットの着用を義務化する。
- ・ その他、安全第一を前提とし、エントリー時にはコース情報・制限時間・保険情報等を詳細に事前説明する。
- ・ 募集開始は 3 月 14 日を予定。

【委員による意見・質問】

（意見・質問）

- ・ 前回専門部会の内容より安全な方向性になっている。委託事業者とも十分に協議して、より詳細を検討していただきたい。
- ・ 多くの方に参加いただけるように、広報 PR を強化、工夫して行っていただきたい。
- ・ 熱中症対策は十分に検討していただきたい。
- ・ タイム計測区間の上り坂が終了した直後に下り坂になるので、スピードが出すぎないように、待機場所を設ける等、安全対策を検討していただきたい。
- ・ ヘルメットについて、参加可能なものを明示して、安全管理を徹底していただきたい。

（事務局より回答）

- ・ いただいたご意見を踏まえ、当日に向けた準備や運営の更なる検討を進めていく。

3. 閉会